

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 3月は19日まで緊急事態宣言下でアルの講演会はありませんでした。5日にお呼びした政策研究大学院大学教授の竹中治堅氏は

「菅政権とコロナ危機」と題して話されました。コロナ対策にスピード感がない原因として保健所を例にこう指摘されました。保健所の管理は自治体中心。東京都の場合は特別区で、国や都は指示命令を出せない。そのため、国は緊急事態宣言を出すとか、都は営業自粛要請行うしかない。これはこれまでの統治の制度が集権化と分権化という真逆の方向に向かった結果とのことです。詳細は5月号に掲載します。

新規会員は2月が高橋延幸様、4月がLEO C経営企画・システム本部長の山田龍介様です。

5月の講師はインサイドライン編集長の歳川隆雄氏、BNPパリバ証券の河野龍太郎氏、琉球大学准教授の山本章子氏、千葉大学法政経学部教授の酒井啓子氏を予定しています。

◆中部◆ 3月の講師は国際金融マーケット研究家の豊島逸夫氏でした。前日のパウエルFRB議長のFOMC後の会見を聞いた徹夜明けに来名されました。パウエル氏は引き続きゼロ金利と資産購入を継続すること。期待インフレ率が高く、実質金利が低い状態が続くため日米とも株価には強気であると話されました。

5月の講師は経済評論家の武者陵司氏、朝日新聞編集委員の曾我豪氏です。(日暮良一)